

## 同意しない事柄に対処する

2014年6月6日 アシエル・イントレーター

倫理的または霊的価値観に関する事について検討する際、同意しない人々に対してさげすまないように注意しなければなりません。私たちはすべての悪の活動を憎む必要がありますが（箴言 8:13）、それにかかわる人々を愛する必要があります（ヨハネ 3:16）。イエシュアほど罪を叱責した者はいませんが、主ほど罪人の友となられた方はいらっしやいません（ルカ 7:34）。

私たちはアラブ人を愛しますが、憎み、殺し、テロを行うイスラム聖戦に影響された者には同意しません。

私たちは同性愛の人々を愛しますが、不貞または売春に反対するように、彼らのする行いに反対します。すべての性的な罪は、男と女の健全な関係を破壊します。

現代の西洋社会で同性愛に対する反対を挙げると、その人はすぐに偏見を持つ人とレッテルを貼られます。しかし、言いました通り、「これは生物学的な事であり、偏見ではありません」。私たちは誰も侮蔑するのではなく、しかし、それに関わる倫理的そして社会的な問題を話し合いたいのです。

私たちメシアンックジューは伝統的なキリスト教とユダヤ教双方と神学的に同意しない事に対処しなければなりません。超正統派ユダヤ人（ハレディーム）に対し、さらにイエシュア（イエス）への信仰について衝突することを含め、いくつかの面において同意しないところがあります。

1. **口伝律法** - 超正統派の伝承によると、口伝律法はシナイ山で神から直接与えられたという。この誤りは、いくつかのキリスト教宗派に見られる、聖書の真理よりも教会の伝統の権威に重点が置かれる、という事に似ています。
2. **異邦人に対する態度** - 非ユダヤ人に対する根本的な拒絶が、多くの超正統派ユダヤ教の中に見られ、それは単純に、人種差別主義の上にあります。私たちはこれを問題と見ています。それは、多くのヨーロッパのキリスト教にある反ユダヤ主義に疑問を持つと同様です。
3. **宗教的寡占** - イスラエルにおいて、宗教組織は正統派によってコントロールされています。それは、結婚、改宗が含まれます。保守派のラビでさえ、実際権威を持たないのです。
4. **反シオニズム** - 多くのハレディの社会は、世俗の国家であるイスラエルの正当性に対し反対しています。（皮肉な事に、それはイスラム過激派がシャリア法に基づく国が正当であると認めるのに似ています。） 多くは裁判所の権威を拒絶し、兵役に反対しています。
5. **税の汚職** - 政府が高額の予算を要求する一方、彼らは仕事場から人を追いやっているため、税と経済の基盤に貢献していません。

私たちが同意しない人々に対して愛し尊重することを覚え、その一方で客観的に問題を討議する際正しさを常に求めて行こうではありませんか。

## ブラウン博士が同性愛について CNN で語る

私たちの親愛なる友であるマイケル・ブラウン博士が同性愛について CNN で語る、この短い動画を見逃さないで下さい。彼は、イエシュアが同性愛を糾弾しなかったという主張について、次の3つの箇所から反証しています。

1. トーラー の律法は廃棄されたのではない (マタイ 5:17)
2. 結婚は男女間のものである (マタイ 19:5)
3. 同性愛を含む、姦通 (ポルネオ porneo) は不貞です (マタイ 19:9)

ブラウン博士はまた、同性愛は生々しく生物学的に相反するものであるとの確に指摘しています。「直腸は排出のためにあるのであって、生殖のためにあるものではない」ご覧になる場合はこちらを[クリック](#)。(英語)

## 倫理的コンパス

マティ・シヨシャニ

イエシュアに従う者は、救いのメッセージの個人的な物語を語る必要があります。さらに、私たちの召命、それは個人的なものであり、集団的なものでもあり、それらは、私たちの価値観、基準、そして「正しいこと」と「間違いであること」の理解について、声を上げて、社会に対する倫理的コンパスである必要があります。

イザヤ 40 章は主の道を整える必要、主が来られるようにするためには地を変化させる必要について述べています。この箇所はマルコ 1 章で引用されています。洗礼者ヨハネが、イエシュアの出現の前に、倫理的革命を起こす呼びかけを行っています。

イエシュアご自身は倫理的革命を呼びかけた方でした。規定の戒めについて律法主義的な論議に対し主はよく批判されましたが、トーラーの御言葉の背景にある価値観と倫理について強調されました。その例の一つはマルコ 10 章にあり、そこはイエシュアが結婚の契約に関係させて倫理基準をより高く設定した箇所です。

イスラエル人メシアニックジューとして、私は尋ねます。誰が私たちの社会の倫理と道徳を決めているのでしょうか。それは私たち、イエシュアの信者でしょうか、それとも他の人でしょうか。もし私たちが社会の最も重要な疑問点 - 敬虔であること、金銭的に信頼おける事、土地の所有権、結婚の基準 - を見ていくならば、私たちがこれらの問題について基準を設定する者ではない事が明かです。

私たちは倫理的価値観に関する問題に出くわした時、人々に私たちが信じる事について伝えなければな

りません。これは福音をその時必ず伝える必要はありませんが、ある件についてはそうする必要があるかもしれません。それは、私たちが、あることについて間違いである事、または正しい事だと信じると、はっきり伝える事を意味し、それは単純なことであり、そして困難な事です。

イスラエルの人々は倫理的に充足する事に飢え渴いています。それは私たちが目指す社会の目的に対し、明瞭な未来図やビジョンを示す事です。私たちはその充足感を聖書、イエシュアそして 聖霊を通して持っています。そして、私たちは、そのメッセージを用いて社会に語っていく時が来ていると信じています。

### マイヤーズ氏の「壁またはフェンス？」

私たちの親愛なる友であるカレブ・マイヤーズ氏が、イスラエルとパレスチナを分ける「分離壁」と呼ばれているものの問題について語っている短い動画を見逃さないで下さい。その問題とは、それは壁またはフェンスであるのか、です。カレブ氏は、97%の柵は簡単な鎖が連なったフェンスであり、分厚いセメントの壁ではないと統計を述べています。

それが民族的な分離なのか、それとも安全を守るものなのか、カレブ氏は別の統計を述べました。柵が出来てから、テロリストがその地域に入り込んで、ユダヤ人が殺されるという数が 98%減少し、それから、テロリスト活動がない場所には、まったく柵がないという事を述べました。ご覧になるには、こちらを[クリック](#)。(英語)

### シャヴオットへの感想

もしあなたがたが今週の夜通しの祈りと断食を、ライブでご参加されたのであれば、どうかその夕べについて、霊的または実質的な事について、感想または証を何でもお知らせして下さい。Reply をクリックして下さい。